

# 令和2年(2020年)ツバメの子育て (6月28日~8月4日)



2018年9月外装のため車庫上の4つの巣取り払う



2019年から1つ巣ができて子育てする



2020年6月28日から巣を修復し・産卵・抱卵



7月20日孵化した



親ツバメ給餌で忙しい



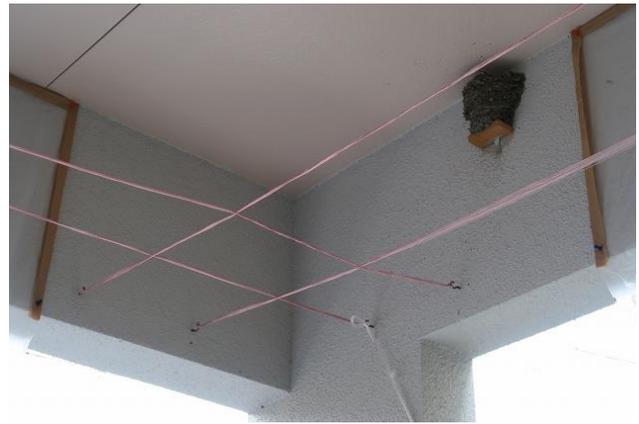
4羽大きく育ち食欲旺盛 7月31日早朝撮影



7月31日10時半ごろ、ツバメの巣に青大将が巻き付いているのを家内が発見し大騒ぎとなる。すぐに箒で巣を壊さないよう叩き落す。呑み込みかけていた雛を吐き出し、車の下に逃げ込み行方知れずとなる。4羽の内2羽が犠牲になってしまった。可哀そうなことをした。

蛇除けをNetで検索した結果、ゴミ袋を進入する可能性のある壁に貼ると良いとのこと、作業に入る。

(青大将写真 Net より)



←柱に巻き付けたゴミ袋。巣の左右からの侵入を防ぐため2枚貼る。

4本の赤ビニール紐はカラス除けである。以前カラスに襲われたことがあった。30cm間隔で縦横4本。カラスは小回りできないため近寄らず。



2羽になってしまった

8月1日 午前1時トイレに起きたとき、ツバメが気に入り車庫の電気をつけて見たら、また蛇が巣に巻き付いていた。急いで箒で叩き落した。

蛇はまた車の下に消えた。懐中電灯で車下を照らしてみたが姿なし。カラス除けに張った内側のビニール紐が、ポロポロに毛羽立ち今にも切れそうになっており、この紐を伝って侵入したことが解った。2羽の生存確認できず。やはり蛇はしぶとい。怖くなる。

4本のビニール紐すべて切断した。蛇はどこに隠れていたのか？ エンジンルームに蛇が居たとの話を思い出し、真夜中であつたが、車で団地内を一回りした。車体下に隠れていたのであれば、どこかで振り落としたと思う。興奮で朝までよく眠れなかった。



8月4日 早朝巣立ちした

8月1日午前 巣に雛の姿が見えず、2羽とも犠牲になったとあきらめていたが、親ツバメが何回か出入りしているうちに頭が見え、1羽元気なことが確認された。「よかたー」早速、巣の周辺にゴミ袋を貼り付ける。2日・3日は何事もなく経過し4日早朝巣立ちし安心した。

青大将が垂直壁面を登ったり、細いビニール紐を渡るとは、夢にも思わなかった。Netによると、木に上るときは、腹の両側方にある強い隆起を木に引っかけて上っていく。この為、アオダイショウは、ほぼまっすぐに上って行くことができ、鳥のヒナや卵を狙って、鳥の巣を襲うこともあるとのこと。（傘寿過ぎても新たな発見）

